


全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番全国港湾18FAX第40号)
(宛先)	2018年11月30日 時 分
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) 全国港湾書記局 

(件名)

18 秋年末闘争/冬季(期)一時金情報(2)

(本文) 18 年秋年末闘争中央行動は 11 月 21 日に行政交渉及びユーザー申し入れ、要請行動、22 日に日比谷図書文化館コンベンションホールで決起集会を 150 名の参加で成功させた。決起集会には各野党(立憲、国民、共産、社民)衆参議員からの連帯の挨拶を受け、出席できなかった政党(自由党、沖縄の風)からはメッセージが届けられた。
さて、18 冬季(期)一時金交渉はヤマ場を迎えています。11 月 30 日現在の一時金の取り組み状況を下記します。

1. 全 港 湾 11 月 27 日現在、速報分会 140 分会中、62 分会(44%)に有額回答が提示され、そのうち 17 分会が妥結した。回答平均額は 534,236 円、妥結額平均は 553,152 円(率は 2.17 ヲ月)となっている。昨年の速報分会妥結実績は、509,061 円であった。
2. 日港労連 日港労連として、年間基準内賃金 6 ヲ月分を要求している。港荷部門、関連部門において現在各地で交渉中。全検部門においては 10 月 30 日に要求書を提出した。現在、各単組で交渉中。
3. 検数労連 11 月 26 日に第 4 回検数労連 18 冬季一時金交渉を開催し、両協会から有額回答が提示された。11 月 28 日の交渉で機関手続きに入った。
全日検：全国平均 459,895 円 + α
日 検：全国平均 446,636 円 + α
次回交渉は 12 月 4 日(火)を予定している。
4. 検定労連 海事職組は 11 月 16 日(金)に大筋持合意し、シンケン労組は 11 月 26 日に合意し、妥結した。尚、支給日は 12 月 7 日。
海事検定：組合員平均 740,000 円相当
基準内比 0.65433 ヲ月 + 一律 185,000 円
賞与評価 一時金及び一律の合算額相当
シンケン：組合員平均 455,000 円
基準内比 1.3503 ヲ月 + 一律 100,000 円
新日本検定：組合員平均 810,000 円(現業)
役割給 1.1059 ヲ月
基準内比 1.2614 ヲ月 + 一律 81,000 円

5. 全倉運 11月30日現在、秋年末闘争方式の回答及び年間方式の回答状況は次の通り。単純平均 29 組合、2,295 カ月、平均回答額 609,258 円。加重平均 2,298 人、2,343 カ月、622,801 円。
<年間方式(春または夏に決定)の集計>
単純平均 7 組合、2,442 カ月、平均額 678,481 円。
加重平均 1,649 人、2,856 カ月、平均額 822,962 円。
6. 大港労組 11月15日(木)に第1回団交を開催、要求額は85万円とした。
11月30日第3回団交を開催し、16時に船内平均 505,000 円で妥結した。
7. 全日通 一時金は年間 1,180,000 円(税込み)
内訳/夏季一時金 580,000 円、年末一時金 600,000 円。

以上